

R.I. DISTRICT 2500 THE ROTARY CLUB OF KITAMI WEST
北見西ロータリークラブ会報

■創 立 日 昭和46年 4月29日 (1971/4/29)
■承 認 日 昭和46年 5月27日 (1971/5/27)
■例 会 場 所 ホテル黒部(7条西1丁目)
TEL 23-2251
■毎週木曜日 12時30分～13時30分
■事 務 局 TEL 25-2824

2025～2026年度クラブテーマ

《縁(えにし)を大切に、和(輪)をもって
ロータリーライフを楽しみましょう！》


よいことの
ために
手を取りあおう

■会 長 松井 順仁 ■会長エレクト 山本 英敏
■副会長 村田 望 ■幹 事 近江 孝介

第2500地区ガバナーテーマ

「Rotaryのことを熱く語ろう！～Rotarian Benefitを紡ぎ、そして育むために～」

本日のプログラム

第2552回例会
2025年12月11日(木)
 ホテル黒部

疾病予防と治療月間に因んで

人間尊重委員会

第2551回 例会記録

2025/12/4

会長挨拶

松井会長




皆さんこんにちは、今月は、疾病予防と治療月間です、巷ではいつもの年よりも早くインフルエンザが猛威を振るっているようで、中でも北海道が一番多いとのこと、皆さんも体調の管理には十分気をつけていただければと思います。

さて、本日は年次総会です、この言葉を聞きますとこれですと半期が終わろうとしているのだと実感いたします。早いもので7月より会長職を務めさせて頂き、何とかここまでやってこれたのは、役員、理事をはじめ会員の皆様のご理解とご協力があったることだと改めて感じているところです。今後とも様々な事業等へのご理解とご協力を宜しくお願い致します。

そして本日のプログラムは会員卓話ということで、2名の先輩会員よりお話をさせて頂くことになっているようです、久しぶりの先輩のお話を楽しみにしております。高田プログラム委員長よりお願いいたします。

本日はタイムスケジュールが立て込んでいるようなので、スムーズな進行ができるようご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは、本日もおいしい食事と例会を楽しみましょう。

天気  (例会時) 最高気温 -3℃



昼 食

う巻玉子 焼き魚 鮭塩焼き
刺身 大鰯
炊き合わせ 里芋 湯葉 茄子 椎茸 麩
揚げ物 鱈フライ タルタルソース
ご飯 味噌汁 香の物
りんご コーヒー

■ニコニコボックス 中本親睦活動委員

角田会員

良い事がありました。

溝口会員

誕生日もらえそうでありがとうございます。

目黒会員

昨日、痔ろうの手術をしました。調子もよいので例会にも参加。この機会に酒もやめたので良かった。

海田会員

ロータリー財団月間お世話になりました。ありがとうございます。

疾 病 予 防 と 治 療 月 間

会長報告

松井会長

本日、奨学生のリマルサ・ハニンナコンサ・マルゴノさんにお越しいただいておりますので奨学金をお渡しいたします。



■ 12月の誕生祝

黒部親睦活動委員

浅野会員、岡花会員、岡村会員、
海田会員、小泉(コ)会員、塩野谷会員、
副島会員、溝口会員、山本会員

幹事報告

近江幹事

- 1) 12月のロータリーレートは156円です。
- 2) 12月と1月の例会日程・変更等のお知らせをレターボックスに入れております。ご確認ください。
- 3) 本日、夜6時から理事会が開催されます。役員・理事の皆様、ご出席よろしくお願いいたします。



■ 12月の結婚祝

黒部親睦活動委員

富田会員、内藤会員

プログラム

年次総会（役員・理事選出）

会長・幹事

次 第

- 1) 開会・議長選出
- 2) 議案「2026-2027年度北見西RC役員・理事選出」
- 3) 閉会

近江幹事

年次総会の成立についてご説明させていただきます。北見西RCの細則において年次総会の定足数は会員総数の3分の1と定められております。現在、会員総数は69名ですので、その数は23名となります。本日の例会に52名の出席をいただいております。よって、本日は定足数を満たしており総会が成立することをご報告いたします。なお、総会の議長はクラブ細則により例年会長が務めております。細則に従い松井会長にお願いしたいと思いますが異議がございませんか。（拍手）ありがとうございます。早速ですが松井会長、議事進行をよろしくお願いいたします。

松井会長（議長）

ご指名をいただきましたので、細則に従って議長を務めさせていただきます。議題、2026-2027年度北見西RC役員、理事選出につきまして、先に発足しております指名委員会の西村委員長よりよろしくお願いいたします。

2026-2027年度役員・理事

会長	山本 英敏	会員（役員・理事）	直前会長	松井 順仁	会員（役員・理事）
会長エレクト	村田 望	会員（役員・理事）	職業奉仕委員長	鈴木 康士	会員（理事）
副会長	伊東 一志	会員（役員・理事）	社会奉仕委員長	高田 有義	会員（理事）
幹事	紺野賢太郎	会員（役員・理事）	国際奉仕委員長	榊原 尚行	会員（理事）
副幹事・会計	今井 泰幸	会員（役員・理事）	青少年奉仕委員長	米川 博之	会員（理事）
会場監督	佐藤 尊人	会員（役員・理事）			

拍手をもってご承認いただければ幸いです。（拍手）ありがとうございました。



川島会員 卓話

1. 冒頭：卓話のきっかけ

皆さん、こんにちは。

先ほどご紹介いただきましたので、私が話すことはあまりなくなってしまったのではないかと思います（笑）。先日、会長が私の会社に見えられて、「お前、暇だろうから卓話をやれ」と言われました。「わかりました」と答えましたが、やはり会長の話には「イエス」しか言えないですね。「NO」とは言えません。

ですから、今日は皆さんの前で卓話をさせていただくことになりました。

実は去年の12月の初めも京都に行っていて、ちょうどテレビで「今の京都は紅葉が最高に綺麗だ」と放送していました。本当は今月も行こうと思っていたのですが、会長の命令ですので、家になくはいけません（笑）。そんなわけで、今日は10分ほどお話をさせていただきます。

2. 入会と当時の西ロータリークラブ

先ほど紹介にありました通り、私は1985年（昭和60年）の8月22日に西ロータリークラブに入会させていただきました、今年で40年になります。スポンサーは、本日欠席されている加藤会員と、故人となられた田口会員のお二方をお願いしました。

入会当時の会長は、北見市地方卸売市場の奥寺俊（おくでら しゅん）さん、幹事は三浦さんだったと思います。会員数は60数名ほどいました。

入会のきっかけは、青年会議所を卒業した際に各所からお誘いがあったことです。最初は「まだ早いのではないかと」お断りしていましたが、何度も「入れ」と言われまして。友人を増やしたい、そして少しでも社会貢献ができればと思い入会しました。ただ、ロータリークラブが実際に何をしているのかは全く分からずに入ったのが実態です。

3. 「石川天皇」時代の思い出

石川会長の時に私は幹事をさせていただき、2006年（平成18年）には第36代会長を務めさせていただきました。その節は小泉会員に幹事として大変お世話になり、今でも頭が上がりません。ゴルフだけは負けないように一緒にやっていますが（笑）。

当時の西ロータリークラブには、中央病院の石川先生がいらっしゃいました。いわば「石川先生のクラブ」のような状態で、誰も先生の言うことには逆らえません。「はい、わかりました」しか答えがないのです。

例えば、当時の週報（会報）作りは、スピーチをすべてテープに録音し、後日それを聞いて文字起こしをしていました。録音状態が悪かったり、一字でも間違えたりすると、「焼きが入る（怒られる）」という大変厳しい時代でした。

先生に関してはこんな逸話もあります。ある日、先生が床屋で洗髪中に「お湯が熱い」と感じたそうです。そうしたら、頭に泡がついたまま、向かいにある自分の病院へ真っ直ぐ帰ってしまったとか。嘘か本当かわかりませんが、それくらいわがままというか、豪快な先生でした。猟銃もお持ちでしたから、暗い夜道では撃たれないかと心配したものです（笑）。

4. クラブの分裂と存続の危機

そんな状態でしたから、長続きするわけがありません。次々と退会者が出たり、誤報が続いたり、一時は「2つの西ロータリークラブ」ができたような状態になりました。黒部ホテルで例会をやっているのに、別の場所でも西ロータリークラブが例会をやっている。メーキャップに来た人が「どっちに行けばいいんだ？」と困惑するような事態でした。

裁判沙汰にもなり、何百万円ものお金がかかりました。会員は減り続け、最後は7名前後まで減っ

てしまいました。しかし、「雨降って地固まる」と言いますか、残ったメンバーで「西ロータリークラブの灯を消してはいけない」と踏ん張り、今の形まで続いてきました。私もその歴史の中で、少しは貢献できたのではないかと感じています。辞めなくてよかったと思っています。

5. 自身の経歴とあがり症

私は北斗高校を卒業して、ある会社に入りました。「人前で喋るのは下手だし、将来はサラリーマンだろう」と思っていました。

その会社は社長のワンマン経営で、毎晩飲み歩いては金欠になり、私の初任給6,000円すら「悪い、半分だけくれ」と言われるような自転車操業でした。これでは危ないと思い、29歳の時に独立して今の会社を設立しました。今年（※当時）の12月1日で55周年を迎えます。

会社は成長しましたが、私は相変わらず人前で話すのが大の苦手でした。しかし、栗原学園の役員などを頼まれ、入学式や卒園式で挨拶をさせられる機会が増えました。話すのが下手な私が、90～100名いる社員の前や、取引先の会の会長として何十年も話をしなければならぬ。「経営者になりたい」とは思いましたが、「人前で話す仕事」はしたくなかった。人生は思うようにはいかないものですね。

6. ロータリーバッジの効用

最後に、ロータリーに入って良かったことをお話しします。

私はどこへ行くにもロータリーのバッジ（記章）をつけています。東京の会議などで全く知らない人と会っても、バッジを見れば「あ、仲間だな」と分かり、向こうからも声をかけられます。まるで旧知の友人のようになるのです。

ハワイやラスベガス、シドニーに行った時もそうでした。空港のセキュリティチェックで上着を脱いだ時、バッジを一番上につけておいたんです。すると、他の人が厳しく検査されている中、私は「どうぞ」とスムーズに通されました。

また、シドニーのロータリーの例会に参加した時は驚きました。会場にはエリザベス女王の肖像画が飾られているのに、雰囲気は非常にラフで、短パンの人がいたり、ワインを飲んで車で帰る人がいたり。「これでいいのかな？」とも思いましたが、世界には色々なロータリーがあるのだと知りました。

7. 結び

40年間ロータリーに在籍して、世の中に大きく貢献できたかは分かりませんが、私自身は大変勉強になりました。

ロータリーは決して悪いところではなく、結構いいところです。せっかく会費を払って入会したので、ただ何もしないのではなく、楽しく仲間を作るためにも、積極的に参加していただきたいと思います。

少し長くなりましたが、これで私のスピーチを終わらせていただきます。ありがとうございました。



溝口会員 卓話

1. 冒頭：「ひよっこ」の私と入会の経緯

皆さん、こんにちは。

私は今年で入会21年目になります。しかし、先ほどお話しされた川島さんが40年ですから、それから見たら半分、まさに「ひよっこ」ですね。私の初任給は確か1万8000円でしたから、川島さんの時代がいかに大先輩かお分かりいただけるかと思います。

さて、先ほど松井会長から「例会で10分くらい話してくれないか」と頼まれました。「テーマは何か？」と聞くと「特にない」とのこと。「それは困りましたね」と言ったのですが、20年間辞めずに続けてきたわけですから、「私がロータリーを辞めなかった理由（わけ）」という題名で、少しお話しさせていただこうと思います。

2. 入会当時の教えと「なりわい」事件

長くロータリーにいと、一度や二度は「辞めたい」と思う方がほとんどではないでしょうか。私も何度かそう思ったことがあります。やはりロータリーは素晴らしいと感じているからこそ、ここまで続けてこられました。

私は第35代の佐々木会長の年度に入会し、今は亡き中西さんにスポンサーになっていただきました。最初にご指導いただいたのは、「例会を休まないこと」、そして「ロータリーで頼まれたことは絶対断らないこと」。この2つでした。

新入会員の卓話では、今の私からは想像できないかもしれませんが、足が震えたのを覚えています。

そして3年目、私は会場監督（S.A.A）を務めました。当時は持ち回りで、運悪く私は年に数回しかない「第5週」の担当に当たりました。そこでロータリーソングを紹介する際、「我らの生業（なりわい）」という歌詞を、なんと「せいぎょう」と読んでしまったのです。「せいぎょう」とも読めますよね？ でも会場はシーンとなり、ざわつき始めました。「君、それは『なりわい』と読むんだよ」と指摘され、恥ずかしい思いをしました。

しかし、そこがロータリーの良いところです。隣にいた時の幹事が、「溝口さん、私も知りませんでした」と言ってくれたのです。すっかり救われた気持ちになりました。

3. 規定審議会と先輩の親心

2010年、私が会長になる前の頃ですが、規定審議会で大きな変更がありました。それまで慣れ親しんだ「4大奉仕」に「新世代（現在の青少年奉仕）」が加わり、「5大奉仕部門」になったのです。

これを受けて、我が西ロータリークラブでも「定款や細則をどう変更するか」という議論になりました。私は次期会長（エレクト）として委員長になり、6人のメンバーで一生懸命検討しました。

今にして思えば、R I（国際ロータリー）で決まった定款変更は自動的に適用されるため、クラブで議論して変える必要はなく、細則だけを変更すればよかったのです。しかし、熟練のロータリアンたちはそれを知ってか知らずか、教えてくれませんでした。「お前、勉強して会長になれよ」という親心だったのかなと、今では思っています。

4. 三大義務と出席のメリット

ロータリアンには「三大義務」があります。

1. 会費を払うこと
2. 「ロータリーの友」を購読すること
3. 例会に出席すること

その中でも「例会出席」が最も重要視されます。最初は毎週木曜日に時間を割くのが苦痛でしたが、慣れると不思議なもので、木曜日は自然と予定が空くようになります。

例会に来て会員と話し、情報や知識を得て帰る時には「充実感」があり、「少し勉強になったな」という気持ちになれます。これが私がロータリーを辞めない大きな要因だと思っています。

5. ロータリーでの出会いと「友」

ロータリーは思い出を作ってくれる場所でもあります。私が会長をした年は、日本から3人目の国際ロータリー会長として田中作樹（たなか さくじ）さんが就任された年でした。また、2500地区ガバナーは櫻田正弘さん、事務局長は藤田さんという偶然のご縁もありました。

田中作樹会長が開催した広島での「平和フォーラム」に参加したことや、『ロータリーの友』の「友愛の広場」に投稿が掲載されたことは、非常に良い思い出です。

ある会員が「『ロータリーの友』を全部読んだらガバナーになれるぞ」と言っていました。私も会長になる2年半前から隅々まで読み込んだおかげで、ロータリーの流れが理解でき、会長職への不安がなくなりました。

6. 結び：ロータリーは人生の道場

そろそろ還暦も過ぎ、引退かなと思っていた矢先、昨年の西村年度に13～14名もの新入会員が入りました。若い方や女性も増え、ロータリーの雰囲気素晴らしく変わったと感じています。

しかし、どんなに変わっても変わってはいけない原理があります。

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる（He profits most who serves best）」

人のために尽くすことを実践する、まさにロータリーは「人生の道場」です。

もしロータリーを辞めたら、築いてきた人間関係も中途半端になり、社会との繋がりもなくなって、自分の世界が狭まってしまう気がします。

ですから、できる限り肩肘を張らず、「ロータリー活動は自分にとってプラスになる」と信じて続けていきたいと思えます。皆さんも、例会に来る時間を「デメリット」と捉えるのではなく、得られる「メリット」の方が大きいということを胸に刻んで、活動を続けていただきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

お詫びと訂正

先週発行いたしました会報に誤りがございました。つきましては、下記の通り訂正をさせていただきます。ご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

- 誤) 2班 11月6日(木) 18時から 万代にて 発表者：塩野谷会員
<出席者>羽田野リーダー・溝口会員・丸茂会員・棧会員・内藤会員・村田(貢)会員・中本会員・吉澤会員・塩野谷会員
- 正) 2班 11月6日(木) 18時から 万代にて 発表者：塩野谷会員
<出席者>羽田野リーダー・溝口会員・丸茂会員・海田会員・内藤会員・村田(貢)会員・中本会員・吉澤会員・塩野谷会員

■ 例会予告	12月18日	年末忘年夜間例会	親睦活動委員会
	1月8日	新年家族同伴夜間例会	親睦活動委員会

出席報告		米川出席委員長						
	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メークアップ (E)	事後メークアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	12月4日	66 (休会者 3名)	13	52	10	0		82.5%

※但し、休会者3名を含む総数は69名です。